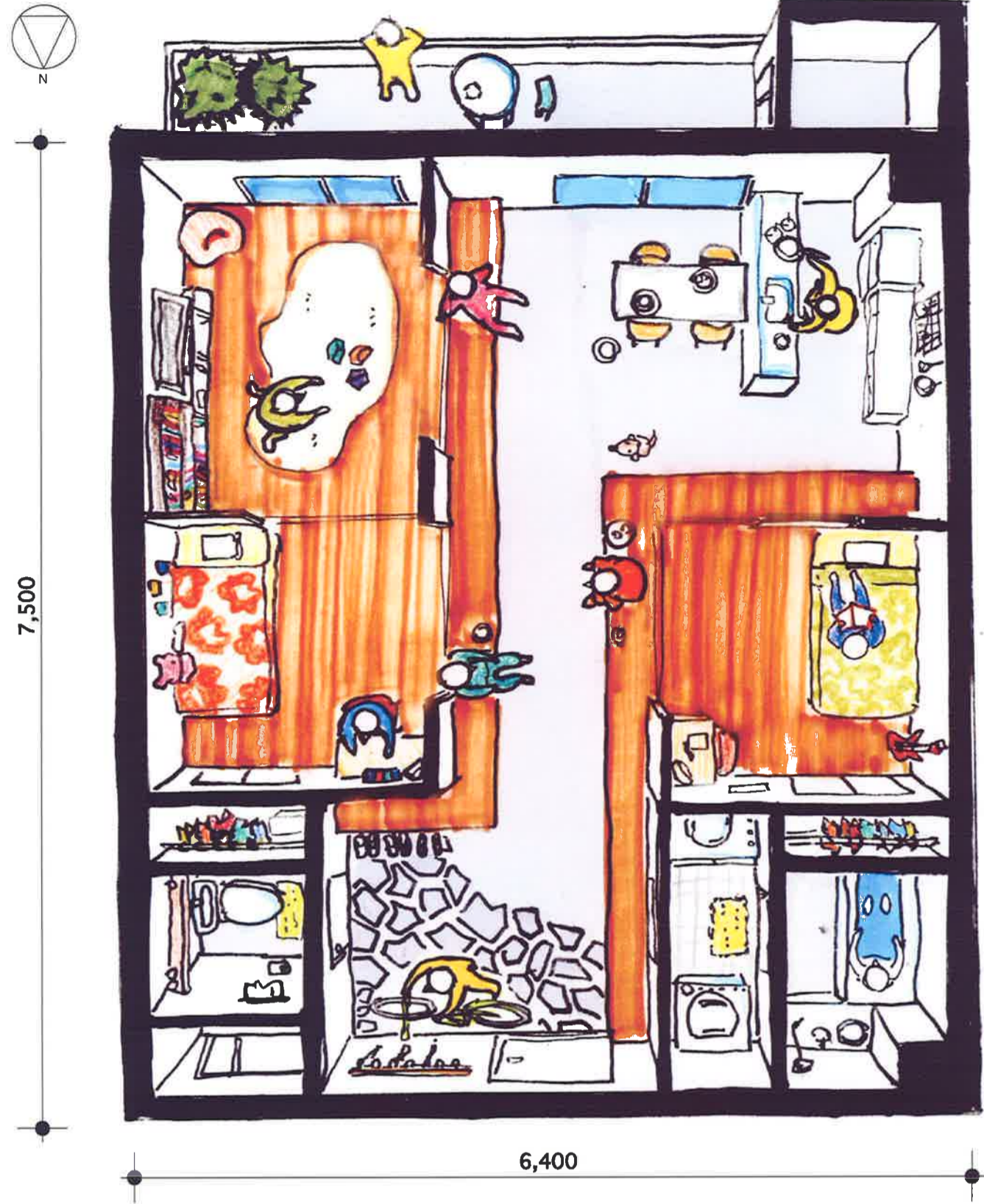
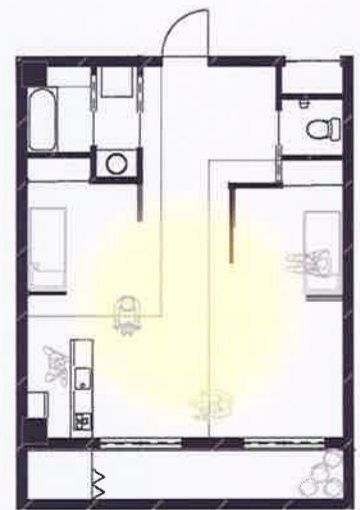


縁側のある家

二人で住むことを想定したマンションの提案。
 マンションの中心には縦横に伸びた縁側があり、マンション全体をつないでいる。
 内に向けた縁側により人の視線が交差し、自然と住人のコミュニケーションを促す。
 また、個々の部屋とリビングに多様な仕切り方ができる戸を設けることによって
 生活に合わせた空間を作ることができる。



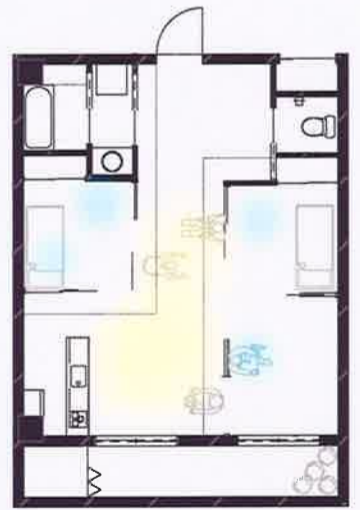
空間の使い方の例



case1 戸を全て開ける
 戸を全て開けて空間が一体となることで、住人のコミュニケーションを最大限に促す。



case2 リビングの戸を解放する
 リビングの空間を解放することで、コミュニケーションの場を確保しつつ、個人の空間を生み出す。



case3 ランダムに戸を解放する
 戸の位置を用途に合わせて変えることで、住人の生活にそった心地よい空間が現れる。



case4 戸を全て閉じる
 個人の空間を最大限に確保しつつ、縁側を利用する事で会話の空間も確保できる。

イメージ図



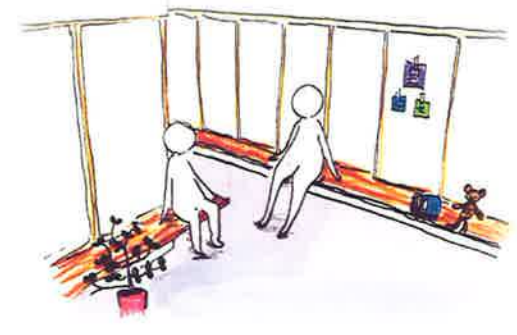
ご飯を食べている様子。開放的な空間の中でゆっくりとした時を過ごすのは気持ちがいい。



向かい合った縁側に座ることによって自然と会話が生まれる。



戸を移動させると壁の変わりに。カレンダーを掛けたり、もたれて読書をすることもできて使い方は自由自在。



戸を全て閉じると、こじんまりとした空間が生まれる。そんな空間ではいつもより深い話ができそう。